

令和2年度 採択検討委員会

議事録

委員候補別開列 選挙区別

選挙区

令和3年度使用教科用図書採択検討委員会（第1回）〈議事録〉

日時 令和2年5月22日（金）午後3時30分～4時30分

場所 横須賀市教育研究所 第2研修室

1 開会

（事務局：）

これから令和3年度使用教科用図書採択検討委員会第1回を始めます。

2 挨拶

（事務局：）

本来であれば、ここで横須賀市教育委員会教育指導課長よりご挨拶申し上げるところでしたが、他業務のため、どうしてもこちらにうかがうことができません。皆様にはくれぐれもよろしくお伝えくださいとのことです。

3 部会員紹介

（事務局：）

本日お集まりの委員の皆さま方の名簿が12ページございます。この名簿順でご紹介させていただきます。構成メンバーは、学識経験者、児童生徒の保護者、学校関係者で組織されております。採択検討委員会には、委員長と職務代理者をおき、委員の半数以上の出席で会議を開くこととなっております。本日は、18名中17名の出席となっております、この会は成立しております。

採択検討委員と調査事務局の任期は本日から、8月31日までとなっております。この資料も含め、調査研究に関わった資料や会議の内容等は、公正確保のため、決して口外しないよう、お取り扱いにも細心の注意をお願いいたします。

調査研究活動はすべて自宅で行ってください。調査研究にかかわった書類等はすべて担当指導主事が回収いたしますのでよろしくお願いいたします。

4 令和3年度使用教科用図書採択について

（事務局：）

（1）令和3年度使用教科用図書採択基本方針について

令和3年度使用教科用図書採択基本方針についてご説明いたします。1ページをご覧ください。

令和2年4月23日の教育委員会定例会で令和3年度使用教科用図書採択基本方針が決定されました。内容については1ページに記載の通りでございます。

3の「次の委員会等」については、（1）（2）に示させていただいたとおりです。

高等学校と特別支援教育については毎年採択替えを行っています。本年度は新学習指導要領の全面実施に関わり、中学校の採択替えが加わります。これらの部会について採択検討委員会ならびに調査事務局調査部会を設置することになります。その皆様に本日はお集まり頂きました。

それでは次に、採択検討委員会ならびに調査事務局について説明させていただきます。では2ページをご覧ください。

(2) 教科用図書採択検討委員会について

採択検討委員会とは、条例の第1条にございますように、市立学校において使用する教科用図書の採択に関し、教育委員会の諮問に応ずるため、地方自治法第138条の4第3項の規定による附属機関として設置されております。

第7条にありますとおり「専門部会は部会長をおき委員が互選する」とありますので、ここで、部会長を決めさせていただきたいと思っております。

どなたか立候補、推薦される方はいらっしゃいますか？いらっしゃらないようなので、事前にお声かけさせていただきました各専門部会の校長代表の先生方に部会長をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

ご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

(全委員による拍手)

それでは中学校専門部会、高等学校専門部会、特別支援教育専門部会の部会長は、恐れ入りますが、その場にお立ちいただけますでしょうか。

それでは、改めてどうぞ、よろしくお願いいたします。おかけください。

では、4ページをご覧ください。

(3) 教科用図書採択事務取扱要綱について

要綱の第2条に「教科用図書採択検討委員会への諮問に際し必要な検討及び資料の作成のため、教育委員会は教科用図書調査事務局を設置し、別表(6ページ)に掲げる区分・人数の教員による調査部会及び事務部会を構成する」とされています。

調査部会については、採択替えの行われない校種、及び新たな図書の申請がなかった場合は設置しないことになるので、小学校の設置はありません。

要項第2条の4にありますように、「調査部会においては、検討委員会における適正な教科用図書の採択につながるべく専門的事項の調査研究及び資料の作成」を行います。

事務部会については、要綱第2条の5にありますように、「事務部会においては、検討委員会における適正な教科用図書の採択につながるべく、各学校で行った教科用図書の調査研究に関する資料の作成及び教科書需要数に関する報告」を行います。これは、小・中・高・ろう・養護学校全ての学校の教科書事務担当者から構成されております。

特別支援教育においては、各学校で児童生徒の実態に近い現場の先生方の立場で教科書の研究調査をお願いしますが、それを集約する採択業務もございます。

この採択検討委員会と調査事務局調査部会・事務部会はまさに、横須賀市における教科書採択審議の中心的役割を担っています。それだけ責任も重く、この委員会の委員を委嘱されました皆様は、公正な採択確保の点から、現在は秘密扱いとなっております。万一お名前等が漏れるようなことがあります。教科書会社等からの接触が考えられ、公正な採択に支障を生じるおそれがありますので、くれぐれもこの点へのご配慮をお願い致します。

(4) 採択の仕組み、(5) 採択関係日程について

続きまして、採択の仕組みと日程について、7ページ、8ページをご覧ください。

先ほどお話しましたように、4月23日教育委員会定例会で基本方針が決定され、「諮問」として採択検討依頼が採択検討委員会におりてきたこととなります。

本日、5月22日が第1回採択検討委員会です。これをもって、調査部会に調査依頼がされ、今後各調査部会が開催され、調査研究が行われます。

また、6月10日には、事務部会が開かれ、需要数報告と調査・評価表提出の依頼が行われます。

10ページのご案内のとおり6月12日～26日にかけて令和3年度使用教科用図書の展示会が開催されます。展示は教育研究所にて行います。

展示時間は平日9時30分より夜7時までとし、土日は5時までですが、休日開催も合わせて学校関係者並びに保護者、市民の皆様幅広く閲覧していただけるよう配慮しております。

9ページにある「教科書編修趣意書」もご参考いただくことで、教科書の内容についてご理解いただきやすくなります。

6月29日には調査・評価表の提出となっています。これを受け、事務局から提出された資料を採択検討委員に提出します。採択検討委員のみなさまには7月上旬に送付予定です。

採択検討委員は、次回7月15日(水)の採択検討委員会までに、その資料を読み込んでいただきます。それをもとに審議をし、教育委員会に提出する答申内容が決定されます。8月の教育委員会において答申し、それをもとに審議がなされ、令和3年度使用教科用図書が決定されるということになります。

教育委員会における決定までは、この日程につきましても、公正確保の点から取扱いには、注意をお願いいたします。

そして、8月の教育委員会での決定を持ちまして、この採択にかかわる全ての情報が公開になります。会議録、委員名簿、調査・評価表などが随時公開されますが、もちろん委員の皆様一人一人に採択についてのお問い合わせや責任が及ぶことにならないよう配慮いたします。

5 確認事項

(事務局：)

それでは、今後の確認をさせていただきます。

まずは、配布資料についてです。

今回の資料と、今後お送りする予定の調査部会からの資料ファイルについては、お荷物になり申し訳ないのですが、次回の採択検討委員会の際にご持参ください。使用后、こちらで回収し、一括して処分いたします。

続いて謝礼及び交通費についてです。

今日も含めてこの仕事に関する謝礼及び交通費等のお支払いについて、お手元にお配りした口座振り込み依頼および学校の教職員以外の方はマイナンバーに関する書類を7月15日にご持参ください。ご提出いただいた口座へ振り込ませていただきます。また、昨年度マイナンバーをご提出いただいた方はマイナンバーに関する書類は不要です。

最後に、今後送付させていただく調査部会の資料は、学校の教職員の皆様には職場へ、それ以外

の皆様には、本会へのご案内を送付したご住所へ送らせていただく予定です。送付先を変えてほしい方がいらっしゃいましたら、この会終了後、お声かけください。

改めて質問はありますか。

(特になし)

それでは、大変お忙しい中ですが、採択検討委員の皆様には、横須賀市の児童生徒のためによりよい教科書が採択できるよう調査検討のほどよろしく願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

令和2年(2020年)7月15日 15時00分～ 研究所第1研修室

【 15:00 開会】

1 開 会

(事務局:)

本日は大変忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。この会議は「条例」第4条の規定に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は6名の出席をいただいておりますので、会を始めさせていただきます。ではこれより「令和3年度使用教科用図書採択検討委員会 中学校専門部会」を始めます。

2 教育指導課長挨拶

(事務局:)

教育委員会 教育指導課長より ご挨拶いたします。

(教育指導課長)

お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。今日は、8月の教育委員会に提出する調査報告の作成をお願いいたします。

中学校では、学習指導要領の改訂に伴う初めての採択年度ということで、各者の特徴をつかみ、横須賀の中学生に最もふさわしい教科書を調査することは大変な作業であったかと思えます。改めまして調査部会員、事務部会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

また、第1回目の会において、採択基本方針の確認をいたしました。再度、公正確保と綿密な調査に基づく採択原案の作成へのお力添えをお願いいたします。

本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

3 部会長挨拶

(事務局:)

中学校部会 部会長 お願いいたします。

(部会長:)

皆様こんにちは。5/22の第1回調査部会より精力的に調査・検討を頂きありがとうございました。

横須賀の子どもたちにとって、学習意欲を喚起し、確かな学力を定着させる教科書採択になるよう調査報告(答申内容)を作成していきたいと思えます。どうぞよろしくをお願いいたします。

4 調査業務及び経過報告

(事務局:)

では、本日までの経過をお話させていただきます。

5月22日に行われました採択検討委員会をうけ、調査部会の先生方に令和3年度使用中学校教科用図書 69種 145点に目を通して頂き、専門的な見地から調査・研究をして頂きました。その中で、公正かつ適正をきし、横須賀の児童にあったものを推薦して頂き、それをまとめたものがこの資料と

なっています。

また、各校の先生方におかれましては、6月12日から開催された教科用図書展示会に足を運んで頂き、すべての教科書について調査・評価をして頂きました。

そこで本日は、これまで各教科調査部員の調査したもの、各学校の先生方の調査・評価結果をもとにして、来年度から4年間使用する教科書採択のための調査報告を作成していただきます。

そして、8月の教育委員会では採択検討委員会部会長に、本日作成します調査報告（答申内容）について答申して頂き、それを受けて、教育委員のみなさんが令和3年度使用中学校教科用図書を採択いたします。

なお、皆様の任期につきましては8月31日までとなっており、情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含め部外秘ですので、十分お気を付けください。

採択終了後、関わったすべての情報、みなさんのお名前やこの資料、本日の会議録などが、速やかに情報公開となります。それまでは、公正確保のため秘密扱いとなりますので、本日の資料はこの会終了後回収させていただきます。

それでは、審議に入ります。部会長、宜しくお願い致します。

5 調査報告（答申内容）作成審議

（部会長：）

それでは審議に移らせていただきます。

中学校教科用図書採択は、16種目です。進行について確認いたします。

まず、調査部会の教科代表者から、推薦する発行者名と推薦理由をポイントを押さえてご説明頂きます。次に事務部会代表の方から、学校調査・評価の主なものをお話いただき、参考意見とします。そのあとに、調査内容についての質疑、意見交換を行い、調査報告（答申内容）の決定、確認をいたします。

それでは、国語、書写、社会（地理）、社会（歴史）、社会（公民）、地図、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、英語、道徳の順で進めてまいります。

（1）国語

（部会長：）

それでは、国語、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

お願いいたします。国語科調査部会推薦の発行者は、「三省堂」、「光村図書出版」です。

主な推薦理由は、

三省堂、光村図書ともに全体の構成や配色も見やすく工夫されており、生徒が落ち着いて学習を進めるための工夫や配慮がなされているところです。

三省堂は自ら学習を進めるという点で非常に優れたものがあると思います。生徒にわかりやすく、具体的にどのような取り組みをすればよいのかが明確になっていると感じます。

光村図書は3年間の系統的な学習が明確であり、学年に応じた適切で有効な取り組みが設定されています。また、生徒が理解しやすく、学びやすい作品が充実しているところも魅力に感じました。そういったような点でこの2者を推薦いたします。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「光村図書出版」です。

主な評価としては、

○各領域の活動がバランスよく配置されている。また、実際に取り組む活動に対して例が詳しく、日常生活の中で活用できる事例が多い。

○語彙の注釈が多く、段階的に難易度を上げていっているなど、語彙を豊かにする工夫が見られる。

○本の世界を広げられるような紹介がされており、読書活動の充実を図るための工夫がなされている。

があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

これ、調査部会と事務部会で三省堂と光村で、光村出版よりも三省堂のほうが明らかに優れているという点。例えば全体的にみると光村が使われているところが多いと思います。明らかに三省堂が優れているなという点があったら、教えてください。

(調査部員：)

はい。ありがとうございます。調査部会の中でも光村図書、三省堂ともによい点が非常に上がった中で、三省堂の教科書は非常にユニバーサルデザインを意識した構成になっており、非常に見やすいし、非常にシンプルに質問等がなされており、生徒も分かりやすいという点で、光村図書より優れているのではないかという話がでました。

今回、このようなコロナの影響もありまして、生徒が自ら学習を進めるという状況が続きましたが、どちらの教科書を使ったときに、生徒が自分で自ら学習を進められるか考えたときに、三省堂の教科書の方が非常にシンプルに質問もやるべきことも掲載されており、なおかつ、国語のなかで語彙を深めるというのが今非常に課題になっているんですが、語彙を深めるための教材というか箇所が非常に分かりやすく丁寧に光村の方より三省堂の図書の方が載っていたと感じました。

そのような点から三省堂の方が自ら生徒が学習を進めるという点で優れているというふうに調査部会では判断をいたしました。

以上です。

(検討委員：)

はい。わかりました。ありがとうございました。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは他にいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、ここまでの質疑等を含めて、調査報告は、「三省堂」「光村図書出版」としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(2) 書写

(部会長：)

それでは書写、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

書写につきまして、教科調査部会推薦の発行者は、

「三省堂」です。

主な推薦理由は、

三省堂は全体的にシンプルにまとめられている点があげられました。学ぶべき順序立てが適切であり、注意点を意識しながら順を追って学習を進めることができます。また、学んだことを活かすための練習箇所も豊富で、大変工夫された内容となっていると感じました。

以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、

「三省堂」と「光村図書出版」です。

主な評価としては、

三省堂は、

○日常の様々な書式が紹介され、さらに文字の歴史に触れたページも多く、書に対する興味関心を持たせる工夫が見られる。

○実際に書き込むページも多く、文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫がされている。

○毛筆学習の後に硬筆学習が設けられている。その際、同じ課題を取り上げており、つながりを意識しやすい。

一方光村は、

○毛筆と硬筆との関連をもたせる工夫がなされている。また別冊の書写ブックを活用することで関連付けて進めやすい。

○直接書き込めるページが多く、練習する機会を意図的に増やし、文字を正しく整えて速く書く能力が育成できる工夫がなされている。

○毛筆に限らず、硬筆や日常生活で使われる文字に対しても気配りがされている。あげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

〔質疑・意見〕

(検討委員：)

調査部会に伺います。調査部会が光村図書出版を推薦しない理由をもう少し詳しく教えてください。

(調査部員：)

はい。光村図書、三省堂ともに非常に良いものであるという話は調査部会でもあがったのですが、光村図書、今回「書写ブック」というものが別冊についておりまして、そちら、非常に練習する部分が多く、いいのではないかという話もあがった反面、3年間使うものとして別冊であるということは、生徒がすぐなくしてしまったり紛失してしまう、そのような恐れもあるのではないかと、ということが最終的には引っかかったということがあります。

その点、逆に三省堂は非常にシンプルにまとめられており、指示も明確で、先ほどの教科書でもお話しした通り、そういった点で生徒も分かりやすく毛筆から硬筆へと進めていけるのではないかと、という話が調査部会ではありました。

以上です。

(部会長：)

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

よろしいでしょうか。それでは、ここまでの質疑等を含めて、調査報告は、「三省堂」と「光村図書出版」の2つということによろしいでしょうか。

(異議なし)

(3) 社会 (地理)

(部会長：)

それでは社会に移らせていただきます。教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「帝国書院」です。

主な推薦理由は、

「見方・考え方」を最も意識した内容・構成である点です。多くの資料を複合的に使って、多角的・多角的に考察を深められる点、またその手段の技能や道筋を立てて導いている点を評価しました。特に章のまとめでは、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」新学習指導要領の3本柱に最もアプローチした課題をバランスよく取り入れているという点を評価しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「帝国書院」です。

主な評価としては、

○各章ごとに振り返りが設定されており、単元のまとめがしやすい。

○写真が豊富で「社会的な見方・考え方」を働かせる学習がしやすい。また、具体的にどこに着目するのかを明確に提示している点がわかりやすい。

○世界の地域ごとの単元の流れが一貫していてわかりやすい。

点があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。調査部会、事務部会とも同じ帝国書院ですが、調査資料について何かご質問・ご意見はございますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。帝国書院が他の図書と比べて、優れているところをもう少し具体的にいくつかご指摘いただけるとありがたいです。

(調査部員：)

はい。ありがとうございます。

「見方・考え方」を最も意識した内容・構成である点という意味では、各節や各章に必ず振り返り、まとめのページがあります。そのページには、「ここではこういう見方・考え方をしますよ」と明確に提示されている点、または3つの柱に、「ここはこの力を意識したものです」というふうに提示している、もしくはその手順も合わせて提示している点が効果的で学習がしやすいと判断しました。

また、「声」という特集のページがあります。各地域や各産業等の実際の働いている人々の声を体験談等を入れたものがあります。それらの資料は、子どもたちが実際の体験やもしくはその人の生き方、もしくは産業や賃金のグラフ等から、様々な資料から多面的多角的に考察するうえで有効的だと考えています。

最後に、各世界の生活と環境等では、他の会社とまた違うところは、熱帯から寒帯という順番でしっかり表記されている点や、様々な生活や衣服や住居等含めて複合的に資料が提示されている点では思考力、判断力にアプローチするうえで、有効的だと考えました。

以上です。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

ありがとうございました。よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、社会地理に関しまして調査報告は、「帝国書院」としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(4) 社会 (歴史)

(部会長：)

それでは次、社会歴史、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「教育出版」です。

主な推薦理由は、

本文が最も社会的事象を客観的に表現しており、生徒たちが適切に学ぶことができると判断しました。各ページに「学習課題」が分かりやすく提示され、ふりかえりとして「確認」「表現」の課題を設置しつなげることで、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」の育成に最も近づけるものとなっている。

という点です。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「東京書籍」です。

主な評価としては、

○授業の振り返りとして、学習内容を深く掘り下げられるように、箇条書きや文章でまとめる活動を発展的にできるように工夫されている。

○資料が豊富にあり、関連性が分かりやすく、生徒が考察するうえで大いに役立つ内容になっている。

○各時代のカギとなる事象、各時代をつなぐ事象が丁寧に記載されている。また、学習課題が生徒目線で作られていて、考えやすいものになっている。

点があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。今まで東京書籍を使っていて、事務部会も東京書籍をおしているんですけども、調査部会はB評価になっていますね。調査部会が東京書籍ではなく、教育出版を推薦された理由として高く評価した点について教えてください。

(調査部員：)

はい。ありがとうございます。

歴史的分野においては、子どもたちにとっては、もっとも知識量が多いような印象を持っている分野であると考えています。また、その中で我々教員も、社会的な見方・考え方を働かせて多面的多角的に考察させるかという授業に落とし込むかということが必要だと考えています。

その点から、シンプルに3点具体的な例を出させていただきますと、まず1つは、中学生にも理解しやすい、自ら学習するうえでも読みやすい文脈であり、歴史的事象を最も客観的に表現しているものと我々が評価をさせていただきました。主には、見開き2ページの中で子どもたちが読みやすく、学習課題と本文のつながりを明確に表示されることによって、知識、技能の習得には大変効果的であると考えています。

2点目は、各ページの学習内容にある最初の導入教材等が最も子どもたちにとっては興味をひきやすく積極的に学習に取り組める内容と考えました。各ページごとのタイトルも工夫されており、子どもたちが興味関心から授業に入っていけるという判断をしました。

3つめは、各章ごとに地域史に迫る「身近な地域を調べよう」という設定の項目が必ずあります。歴史的な遠い世界の事象ばかりではなくて、それを自分たちの地域や地域史ではどういうことがあったのかとつなげる点では教育出版さんのこの観点の部分で評価をさせていただいた次第です。

以上です。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、調査部会から出た「教育出版」、それから事務部会から出た「東京書籍」ということで、調査報告は2者を出すということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

(5) 社会 (公民)

(部会長：)

それでは続きまして、社会公民、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。
主な推薦理由は、
活字の見やすさ、図・絵・写真などがよく考えられ工夫されている点です。
各単元の学習内容にチェックという項目、トライという項目がありますが、知識、技能の確認や発展的な学習の課題の確認としては有効的である、効果的であると判断しました。生徒の習熟度に合った課題設定が可能である点も主な推薦理由です。
以上です。

(部会長：)

続きまして、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「東京書籍」です。
主な評価としては、
○最新のデータが多く記載されていて、様々な視点から社会的事象を考えることができる構成である。また、生徒にとって複雑な項目もイラストなどでわかりやすい工夫がある。
○単元ごとにまとめの活動があり、単元を通して課題を解決できるように配慮されている。また、テーマ全般での課題の追究、解決を図る工夫、自分に置き換えた課題追究ができるような配慮もある。
○現代社会における諸問題について適切に表現されている。加えて、問題解決への新しい取り組みについても積極的に記載されており、生徒の見方・考え方の観点を働かせる内容となっている。
があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。公民についても調査部会が東京書籍、事務部会も東京書籍ですが、これについてご質問・ご意見いかがでしょうか。

(検討委員：)

東京書籍は個人的に今使っている教科書も 10 年後のあなたを考えましょうという、月収があなたは 2 7 万円ですとすごいおもしろいと思ってます。要は、家計を考えるんです。それが、今回の教科書では 3 1 万円になっている。だから、1 0 年間で 4 万円あがったのかな。そんな風に、東京書籍はわりあいそのところだけじゃなくて、日常の生活で、公民の中でずいぶん取り上げている部分があって、これは親しみやすいなど思ったんですよ。調査部会の方で、数ある教科書の中で東京書籍が他の出版者に比べ優れているなどというところがあったら、もう少し具体的にあげてみてください。

(調査部員：)

はい。ありがとうございます。公民的分野においては、我々教員も授業においては、まず単元の構成においていかに授業をするかということにポイントをおいています。今おっしゃられたように経済の分野、政治の分野、現代社会の分野、国際分野という大きな単元をどのように構成するかという点です。そこから具体的に 3 つほどあげさせていただきますと、1 つはその各単元の中で、「チェック&トライ」という各ページごとにスモールステップで知識や技能を確認したり、または次につながるような発展的な課題が設定されているというところを、まずは最も評価をさせていただきました。

2 つ目は、各資料を提示するだけではなくて、その資料に対して「考える」「読み取る」「見方・考え方」などの項目や発問がある点です。今、おっしゃられたように 3 1 万円のその 1 か月の給料に対して、例えば、それはどういうふうに使い方をしたら最も幸せになれるだろうとか、今後どのようにそれが変化していきだろうというように、補足のような子どもたちを、今やもしくは未来へ導くような補足もしくは課題が設定されている点が最も多面的で多角的に考察するうえでは大変充実したものであると評価をさせていただきました。

3 つ目は、最後単元のまとめで、必ず各節の振り返りが 1 つになってまとまっていること。1 節の課題に対してはこう。2 節に関してはこう。それが 3 つまとまってさらに最後章のまとめとして、さまざまなシンキングツール、ダイヤモンドランキングであるとか、ベン図であるとか、いろいろな手法を使って、子どもたちの思考を深めていくという工夫があるということで、東京書籍を推薦していただいた具体的な理由になります。

以上です。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、公民につきましては調査報告は、「東京書籍」ということとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(6) 地図

(部会長：)

それでは、社会地図ということで、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「帝国書院」です。

主な推薦理由は、

A4 判サイズということで、地図が大きく見やすい点です。また、地図を活用する「地図活用」という問いの特集があります。それが社会的な見方・考え方を働かせることができる点が大変優れている。

という点が推薦理由です。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「帝国書院」です。
主な評価としては、
○多くの情報を盛り込みながらも、見やすさの配慮がなされている。サイズを現状のものより大きくしている。色使い、表現の仕方に工夫が見られる。(例えば、山脈の高低に濃淡等)
○統計資料において、データが詳細で多岐に渡っており、生徒の発達段階に応じた授業を構成するのに活用しやすい。
○図が適切に配列されており、関連資料も多く調べ学習にも適している。
があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。今回に二者択一だと思うので、もう少し聞きたいのですが、帝国書院と東京書籍で大きく異なるところはどこでしょうか。

(調査部員：)

まず1つ目がサイズです。帝国書院の方が一回り大きい A4 判サイズで、様々な子どもたちがいるなかでは、やはり大きい方が地図が見やすいと判断させていただきました。ユニバーサルデザインという視点でも最も有効ではないかと思っています。

2つ目は、ただ地図をながめるだけではなく、その中に「地図活用」という問いがあることで、子どもたちが眺めながらも、そこに思考を加えることができるというふうに判断した点です。社会的な見方・考え方へ迫るものであると考えます。

最後に3つ目は、防災の視点を意識した地図や資料が、各地域に必ずあるということです。今、こういう情勢の中で、各地域や各世界、日本の中でも様々な災害と戦っている人々に寄り添いながら、子どもたちが未来や過去に視点を向けていけるという点では最も有効であると考えた点です。

以上です。

(検討委員：)

ありがとうございます。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(部会長：)

それでは、地図の方でも調査部会、それから事務部会ともに帝国書院ということですので、調査報告は「帝国書院」としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(7) 数学

(部会長：)

それでは次に数学、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「東京書籍」と「啓林館」になります。

主な推薦理由は、

東京書籍に関しましては、特に学びの系統性が示されており、また各章において身の回りの題材と数学を結び付けられるような場面の設定が見られるところ、また全国学力量習状況調査の結果を踏まえて身の回りの事象を数学的にとらえられるようなところを押しております。

また、啓林館においては、巻末の「自分で学ぼう」というところを使いながら主体的、対話的で深い学びが行われるような工夫がされており、また、数学と社会のつながりを意識した題材を多く用いているところが大変すばらしいと思い、その2つを推薦いたします。

以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、

「東京書籍」です。

主な評価としては、

○活字が見やすく、絵、図、写真に工夫が見られ、ルビも丁寧にふられている。

○導入が生徒の興味を持ちやすい内容になっており、取り組みやすい。

○解き方のみの例ではなく、考えさせるようにしてあるところが良い。

があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。東京書籍(ア)に「身の回りの題材を数学と結び付けられるような場面の設定が各所に見られ」とありますけれども、どの発行者のものもそう見えるのですが、具体的に他との違いがあれば教えてください。

(調査部員：)

例えば、1年生の「データの分析と活用」におきましては、サッカーチームの分析や、クラス対抗の大縄跳びの跳び方を扱っています。これらは生徒たちにとってより身近に、自分事として思考したくなる内容だと思いました。特に大縄跳びは本市の多くの中学校で扱っており、学級活動とも結び付けやすいことから優れていると判断しました。以上です。

(検討委員：)

ありがとうございます。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、ここまでの質疑等を含めまして、調査報告では、「東京書籍」と「啓林館」の2者を報告していくとしてよろしいでしょうか。よろしいですか。

(異議なし)

(8) 理科

(部会長：)

それでは続きまして理科、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、「東京書籍」です。
主な推薦理由は、2点あります。
まず1点は授業展開や各単元の流れが明確になっており、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付けるための工夫が大変効果的であること。もう1点は、生徒の気づき、課題、仮説、実験観察の計画から結果、そのまとめといった一連の流れが統一してあり、生徒が見ても、教師が見ても、学習の流れが見通せる点が特に優れている。
以上の2点の理由から調査部会は東京書籍を推薦します。
以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「新興出版社啓林館」です。
主な評価としては、
○写真や図が大きくとても見やすい。
○日常生活との関わりを示す内容が多く記載されており、理科の有用性を実感できる構成となっている。
○実験の流れが分かりやすく記載されている。
があげられます。
以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。事務部会では、調査部会と異なる「啓林館」が選出されています。東京書籍と啓林館を比べた時、どういった点で東京書籍が優れているとされたのですか。

(調査部員：)

ありがとうございます。評価表(ウ)にある通り、東京書籍でも事象の提示の多くが身近な場面を紹介しています。生徒たちが理科を通して探究活動を行う上で、現象、事象との出会いはその後の探究を決めるといっても過言ではないというふうに考えております。そういった点でみると、啓林館は単元末に「みんなで探Qクラブ」として探究活動を扱ってはいるものの、日々の授業の中で探究活動を考えると少し事象の提示が物足りないという印象があります。明確な探究活動が示してあること、学びの流れを考えた単元構成、そして何より、教員側にも「探究活動」を明確に意識させることを考えると、「東京書籍」がより適切であると判断しました。
以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、2者ということですが、ここまでの質疑等を含めて、調査報告は、「東京書籍」と「啓林館」ということでほうこくしていきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(9) 音楽 (一般)

(部会長：)

教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、「教育芸術社」です。
主な推薦理由として、義務教育9年間の系統的な学びが重視され、学年のつながりを感じられるような教材・内容が掲載されていて、大変効果的であること。鑑賞の題材配列や創作の系統性だけではなく、歌唱の教材の音域や難易度が、生徒の発達段階を考慮したものになっていること。また、多くの資料が掲載されており、その内容も興味を惹きやすく、学習において生活や社会との繋がりを感じられるようなものになっていること。
以上のことが理由としてあげられます。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「教育芸術社」です。
主な評価としては、
○生涯にわたって音楽文化に親しむ心を育めるよう、様々な音楽やそのつながりが紹介されるなどの工夫がなされている。
○共通事項を意識しながらグループなど協働できる教材が含まれている。
○特別支援教育やユニバーサルデザインの視点から、文字は見やすく写真等についても配慮されている。
があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。音楽も調査部会、事務部会どちらとも教育芸術社ですが、何かご質問・ご意見はありますか。

では、司会ですが、私から。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会にお伺いいたします。教育芸術社の(オ)のところにある「視野を広げたいくなるような資料」とは具体的にはどのようなものを指すのでしょうか。よろしくお願いいたします。

(調査部員：)

「視野をひろげたいくなるような」とは、主に2・3年上下にあります。2・3年上では「世界の諸民族の音楽」ということで、様々な音楽が写真とともに紹介されているページがございます。また、下の教科書では、2年生よりもさらに発展した内容で諸民族の音楽、それからポピュラー音楽ですね。ロック、ジャズ、ボサノヴァ、大変幅広く紹介されているページがあります。

それからもう1つ、今の子どもたちにあっているなどという点、自主的にいろんな音楽に親しむという点でとてもいいなと思う点があります。それは、ポピュラー音楽海外編とそれから、日本編というのがございます。いろんな分野の紹介だけは他の教科書でも見られたのですが、教育芸術社の方では参考曲ということで、具体的にたくさんの音楽が聴けるようになっておりますので、興味をもった生徒が、また1曲2曲聴く中で視野を広げていけるのではないかと、そのように調査部会では話ができました。

以上です。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

それでは、ここまでの質疑等を含めて、調査報告は、「教育芸術社」にしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(10) 音楽 (器楽合奏)

(部会長：)

続きまして、音楽の器楽合奏、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、「教育芸術社」です。
理由としては、
教育芸術社は、知識量が多く大変充実しています。写真の見やすさ、説明のわかりやすさ、幅広い資料など、よく考えられ工夫をされている。段階的に学ぶことができるように、基礎的な教材から発展的に学ぶことができるような教材まで、様々な楽譜が掲載され、分量も適切で、大変活用しやすい。
といったことが推薦理由としてあげられます。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「教育芸術社」です。
主な評価としては、
○和楽器や諸外国の民族楽器による表現活動を通して、我が国の伝統的な音楽の良さ、諸外国の音楽文化に対する理解が進むように配慮されている。
○説明がわかりやすく、協働的な活動のヒントになっている。
○各楽器について、基礎練習から様々な奏法などの発展的な内容まで大変充実している。
があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。同じく、調査部会、事務部会、器楽の方も教育芸術社1者ですが、ご質問・ご意見はありますか。

それでは私からお願いします。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。教育出版の(エ)のところに「箏に関する楽譜は五線譜が多い」とあるが、教育芸術社の楽譜はどうなっているか、もう少し具体的に教えていただきたいと思います。

(調査部員：)

器楽教科書の箏のページを見ていきますと、箏は弦の番号で楽譜が縦書きに示されており、教育出版社ですと、それが五線譜に書き写されていて、五線譜の音の高さと、それから弦の番号と両方見なければならないという、そういう形になります。

教育芸術社さんの方は、それが縦書きのものになっていますので、7番と書いてあれば、弦の7番を探せばよいと大変分かりやすく、子どもたちもよく階名が読めないといいますが、そういうこととは離れて、弦の番号で楽譜を読むことができる、そういった楽譜の扱いが教育出版社は少ないんですね。なので、その点の話が出ております。

以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、音楽器楽合奏に関しまして調査報告は、「教育芸術社」ということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(11) 美術

(部会長：)

それでは美術、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「日本文教出版」です。

主な推薦理由は、

日本文教出版では、生活や社会に結びついた美術を扱う題材が大変多く掲載され、身近な題材から鑑賞体験まで美術の学びが積み重ねていく構成となっており、大変配慮されていること。美術科の学習をイメージしやすく、何を学ぶのか、どのような資質・能力が育成されるのかという視点からも分かりやすく、整理されており、大変活用しやすいことです。また、表現と鑑賞が学びの目標の文章における工夫や、インデックスによる相互に関連する工夫がされていること。生きて働く知識として、身に付けられるように明確であること。題材ごとに「造形的な視点」という表示があり、生徒の思考を促すための工夫がされているということも優れています。なお、日本文教出版が唯一3冊の構成になっていることが、そのことによって3年間の学びの系統性が見えやすく、大変活用しやすい点も推薦理由です。
以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、

「光村図書出版」です。

主な評価としては、

○題材の学びの流れが分かりやすく、主体的に取り組めるような工夫がある。

○生徒の思いを大切にされた制作過程が段階的に示され、発想を広げ、構成を練るための具体的な手立てがわかりやすい。

○構成されている作品や文章が適切でわかりやすく、生徒が理解しやすいように整理されている。

があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

(検討委員：)

調査部会にお伺いします。最後におっしゃられた「日本文教出版が唯一3冊の構成になっているが、そのことによって3年間の学びの系統性がかみやすく、大変活用しやすい」とありましたが、3者中2者が2冊で構成されている中、3冊構成になっている日本文教出版を推薦した理由をもう少し詳しく教えてください。

(調査部員：)

はい。先ほどご紹介したように、日文だけが3冊構成になっているのですが、他の2者は学習指導要領の学年のまとまりが第1学年、それから第2学年及び第3学年ということで、まとまりが2つに分かれているので、おそらく、そのような構成になっているかと思うのですが、実際に活用しているときに、第2学年の前期というものと第3学年の後期というものでは大きく成長が違います。それに伴って、実際に題材を扱っていくときに1つ教科書の中から教師がそれを確認して使用していくとなるんですけども、日文のように分かれておると、その成長過程、例えばなんですけども、日文ですと自画像。同じ2年3年の他の教科書にも同じような題材が必ず入っているんですけども、3年生の一番最後の時期に自画像を描く場合があるのですが、自分の成長、今までの成長を見据えて今後に向かっていくという題材なんです。そういったときに3年の後期に入って3冊に分かれていて、3学年のところで使うのと、また、2年の中で組み込んで使っていくのでは、違ってくると思うので、そういったところでもきちんと成長の段階でとらえられているのではないかと、我々は考えました。

他にもワイド版での活用でレイアウトにも余裕がでておると、構成上3冊になっているということは、題材も豊かになっておると、掲載作品であるとか文章であるとか、そういったこともすべて他の教科書に比べて量も質も上回っております。

以上となります。

(検討委員：)

ありがとうございます。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、美術でございますが、調査報告は、2者「日本文教出版」「光村図書出版」を報告させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

(12) 保健体育

(部会長：)

それでは、保健体育、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「東京書籍」と「大修館」を推薦させていただきます。

主な推薦理由は、

東京書籍はデジタルコンテンツ等の資料が充実しており、情報を活用して理解を深めていくことができる点が大変優れている。現代的な諸問題に関する内容についても配慮が見られる。また、大修館は身近な内容の記載が多く、さまざまな課題を自分のこととして捉え、習得した知識を実生活に生かして考えるなど、主体的に学習に取り組む態度の育成が期待できる。という点が推薦理由です。

以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「東京書籍」です。
主な評価としては、
○イラスト・写真・データなどがあり、また、Dコンテンツで題材を動画で見ることができるなど扱いやすい。
○課題が明確で、個人の健康をより身近に考えられる内容でわかりやすい。
○実生活に生かせる内容で、生涯にわたって関わる課題を見出しやすい。
などがあげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございます。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。全国的に未だに学研の人气が根強い中で、今回、東京書籍と大修館があげられていますが、その2者の違いについてもう少しお願いします。

(調査部員：)

2者とも、実践力を育成するために、自分の生活に当てはめて考えやすい内容となっており、活用しやすいという点は共通したところかなと思うのですが、特に東京書籍は、章末資料の内容が活用しやすい点や現代的な諸課題について触れられている点があるというところが違いかなと思います。

(部会長：)

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、ここまでの質疑等を含めて、調査報告は、「東京書籍」と「大修館」ということで、2者を報告していきたいと思えます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(13) 技術・家庭 (技術分野)

(部会長：)

それでは、技術・家庭 (技術分野)、教科代表からご報告お願いいたします。

準備ができるまで少しお待ちください。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、「東京書籍」と「開隆堂出版」の2者を推薦します。
主な推薦理由は、
2者とも「技術の見方・考え方」を働かせるための流れや、構成が大変工夫されている。
東京書籍では、全体を通して大変見やすく、各題材において既存の理解を深め、問題解決に取り組めるように構成されています。開隆堂では、原理・法則を踏まえた課題解決学習に取り組みやすい内容になっていたため、この2者を推薦いたします。

(部会長：)

ありがとうございます。続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「東京書籍」です。
主な評価としては、
○内容や分量が適切で、文字や図、イラストのバランスが良く見やすい。
○PDCAサイクルを用いて、問題解決へと生徒が思考を深めるのに適切である。
○生活の中からの具体的な題材があり、身の回りから技術を学べ、また地域の特性などを取り入れることができるようになっている。
などがあげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。調査部会からは東京書籍と開隆堂の2者が候補として挙げられていますが、事務部会から挙げられている東京書籍について、調査部会として他の視点で評価できる部分があれば教えてください。

(調査部員：)

調査部会としては、それ以外の部分では、それぞれの題材の流れがわかりやすいというのがありますが、資料に載っている絵や写真が鮮明で細部まで生徒と確認しやすいという点があります。また専門教科ではない教師が指導していることもあるので、東京書籍の教科書の方が、授業の流れを追って、評価しやすいのではないかなというふうに考えております。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、調査報告に関しまして、「東京書籍」「開隆堂出版」の2者を報告するという事
でよろしいでしょうか。

(異議なし)

(14) 技術・家庭 (家庭分野)

(部会長：)

続いて、技術・家庭 (家庭分野)、教科代表からご報告お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は

「東京書籍」と「開隆堂出版」の2者を推薦させていただきます。

東京書籍は、例でいえば『家族・家庭生活』では、高齢者の介助や地域の人とのかかわりに、新しく入った見方・考え方のキーワードである『協働』がきちんと明記されていて、ねらいに沿った学習に向けて大変活用しやすい。また、高齢者体験は住居の部分にも記載され、リンクされている点が大変効果的であると考えます。

開隆堂は、例をあげますと、調理実習例には『調理方法Q&A』があり、子どもたちがうまくいかなかったときに、なぜうまくいかなかったかといった場合に科学的根拠がわかる内容が示されているため、「知識・技能」の習得を養う点が、特に優れているため、この2者を推薦します。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部会：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、「東京書籍」です。
主な評価としては、
○実践的・体験的な活動例が分かりやすく、実生活に結びつけやすい。
○各分野に「生活の営みに係る見方・考え方」があり、生活に生かしやすい。
○防災手帳など、実生活に活用できる工夫が見られた。
があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見はありますか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。先ほどの技術分野と同じ質問をさせていただきます。事務部会から挙げられている東京書籍について、調査部会として他の視点で評価できる部分があれば教えてください。

(調査部員：)

まず、教科書の流れがすごく分かりやすくなっておりまして、例えば各領域の最初の部分に観点、見方・考え方の例がすごくわかりやすく出ていて、子どもが関心を持って授業に取り組めるということがあります。活動や「先輩に聴こう」といったキーワードが大変多く、子どもたちにはそれがすごく理解しやすいと考えます。また、先ほど防災、減災についてありましたが、巻末に子どもの視野体験眼鏡というのがあります。そういう子どもの視点で簡単に体験できるものが付録としてついているということで、より生徒が理解しやすいと思われます。

(検討委員：)

ありがとうございました。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、同じく家庭分野の方も2者「東京書籍」と「開隆堂出版」ということで報告してよろしいでしょうか。

(異議なし)

(15) 英語

(部会長：)

それでは、続きまして英語、教科代表からご報告お願いいたします。

教科書見本の順が整うまで少しお待ちください。

では、お願いいたします。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、
「東京書籍」と「開隆堂出版」です。

主な推薦理由は、
東京書籍、開隆堂ともに小学校での学び方の接続についての配慮がなされているが、特に東京書籍は時間をかけて段階的に中学校での外国語学習に接続していくという点、小学校で扱った単語が見やすく配置されている点、CAN-DO リストにおいても小中の接続が示されている点が、大変配慮されています。
開隆堂は、使用場面から英語の使い方を想起させるという点が、小学校での方法と同じである。東京書籍、開隆堂ともにSDGsに対応した内容があるが、特に東京書籍は、タイムリーで実生活に繋がる幅広い内容の題材が盛り込まれている点、世界に目を向けて物事を考えていくことが期待できる点、また、教科横断的な学習カリキュラムを設定することのできる点が、大変優れております。開隆堂は、日本文化や人権意識に関わる内容の他にも、バランス良くテーマが設定されている点が優れています。
以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は
「東京書籍」です。
主な評価としては、
○4技能5領域をバランス良く学ぶように構成されており、また、日常生活での場面が多く、取り組みやすい。
○小学校での学習事項が載っており、かつ、徐々にステップアップする構成になっている。
○世界遺産や国際協力など、時代にあった内容が充実していて、興味・関心をもって取り組める。
などがあげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、調査資料についてご質問・ご意見はございますでしょうか。

[質疑・意見]

(検討委員：)

調査部会に伺います。候補の2者について、調査・評価表に記載されていない部分について何か評価された部分はありますか。よろしければ教えてください。

(調査部員：)

はい、お願いします。
東京書籍、開隆堂ともに、音と文字をつなげることへの配慮や工夫がございしますが、東京書籍については、アルファベットの文字と音の指導に発音記号を使っておりまして、生徒に正しく発音を指導できるという点において配慮されているという点が評価できます。

(部会長：)

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

それでは、英語ですが、「東京書籍」と「開隆堂出版」の2者を報告するという形でよろしいでしょうか。

(16) 道徳

(部会長：)

最後の教科になります。道徳、教科代表からご報告お願いいたします。

少々準備をしていただいておりますのでお待ちください。

(調査部員：)

教科調査部会推薦の発行者は、

「東京書籍」「教育出版」の2者です。

主な推薦理由は、

東京書籍については、題材、教材の最後にある「考えよう」が、心を動かした要因について迫るように工夫されているということです。

教育出版については、現代的課題を取り入れた内容が大変充実しており、その教材をもとに生徒が主体的に考え、深めていく点が、工夫されていることです。発問の手立てを通して、問題意識を持ち、道徳的価値にきちんと向かうことができる点が特に優れている。という点が推薦理由です。以上です。

(部会長：)

続いて、事務部会代表からご報告お願いいたします。

(事務部員：)

各学校で調査・評価した結果、優れているという評価が多かった発行者は、

「学研教育みらい」です。

主な評価としては、

○視覚的に見やすい。構成が工夫されており、扱いやすい。

○ワークシートが適切に入っているなど、議論する授業づくりのための工夫がされている。

○内容が多様で、発達段階にあわせた工夫があり、取り組みやすい。

があげられます。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。では、調査資料についてご質問・ご意見よろしくお願ひいたします。

〔質疑・意見〕

(検討委員：)

調査部会に伺います。東京書籍、教育出版、学研の特徴や良さ、異なる点についてもう少し詳しく教えてください。

(調査部員：)

東京書籍は、題材に対し生徒が深く考えられるように、発問に加えて体験的な学習の位置づけやデジタルコンテンツの紹介がされており、活用しやすいようになっています。

教育出版は、多面的多角的に考えることができる題材が大変充実していることに加え、生徒がじっくり考えたり、十分話し合いを深められるよう発問の手立てが大変工夫されています。

学研は、「話し合おう、振り返ろう」というコーナーが設定されているのですが、そのコーナーを通じて他者と考え、自分に返すことが意識的に構成され効果的ですが、考えを深める4つのステップという教科書の中で、コーナー以外でも発問のステップを踏まえないと内容理解にとどまってしまう、道徳的価値が深まらないことが懸念されます。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(検討委員：)

調査部会に伺います、2年前に道徳の教科書を導入したときにいたのですが、子どもたちの読解力が難しく、物語を読み解く力はどうかということ、その時は、どれを選んだのか忘れてしまったのですが。そのときに選んだのが物語が多くて、子どもたちに説明するのだけで時間をとってしまうのではないかと、ということで、そちらは落ちてしまったのですが。この推薦の2冊は、物語の点では読んでいかがでしたか。教えやすい教材になっていたでしょうか。

(調査部員：)

2年前に、その物語のところで読解力はどうかということでは、今まで使っているあかつきの教科書だと思われま。

あかつきの教科書というのは、正直申しまして大変生徒の心をゆさぶる、人としての良さだとか生き方、道徳的な内容項目としての価値だけではなくて、そこに向き合う生き方としてのそういった資料としては大変優れた教材がたくさん含まれています。

ですが、今回もそれが調査部会の中で残すことができなかつたのは、この教材自体をまず、生徒の読解力の中で、ある程度長い教材それから内容を押さえていかななくてはならない教材の中で、どこまでこの2年間でやりきれたかということが大きな課題になりました。

あかつきの教科書についての評価は、大変良いという評価をする人と、とても厳しい評価をする人に、一番大きく分かれたところではないかと思ひます。

そういう中で、今回は、せっかくの読み物の中に人としての良さ、醜さ、いろいろな心の中をゆさぶるような教材を生かしながら、それでいて読み進めていく中で、ある程度の読解力と、そして教師の指導力の中で道徳的価値理解を深められるところまでいける教材は何かという点で、調査部会では東京書籍と教育出版という選択をしました。

東京書籍と教育出版の2者で考えていきました時には、どちらかという、教育出版のほうはそういった内容の部分、教材の部分で子どもたちの心を揺さぶっている部分で考えるというところで選ひ、東京書籍は、読み進めていく中である程度の理解をさせられる、読解力の中で理解させられる中で、さらにそこにいろいろなツールを使った中で深めていくというちょっと違った方向での2者の選択になるかと思ひます。

(検討委員：)

ありがとうございます。

(部会長：)

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

(部会長：)

道徳なんですが、この教科については、ここまでの質疑等を含めて「東京書籍」「教育出版」「学研」この3者という形でよろしいですか。

(異議なし)

(部会長：)

ありがとうございます。それでは、全体の確認を行います。

国語「光村図書出版」「三省堂」、書写「光村図書出版」と「三省堂」、社会(地理)は「帝国書院」、社会(歴史)に関しては「東京書籍」と「教育出版」、社会(公民)につきましては「東京書籍」、社会地図に関しましては「帝国書院」、数学に関しまして「東京書籍」それから「啓林館」、理科につきましては「啓林館」と「東京書籍」の2者、音楽(一般)「教育芸術社」、音楽(器楽)「教育芸術社」、美術につきましては「光村図書出版」と「日本文教出版」、保健体育につきましては「東京書籍」と「大修館書店」、技術・家庭(技術分野)に関しましては「東京書籍」と「開隆堂出版」、技術・家庭(家庭分野)につきましては「東京書籍」「開隆堂出版」、英語につきましては「東京書籍」と「開

隆堂出版)、道徳につきましては「東京書籍」「教育出版」「学研教育みらい」この3者です。

以上の調査報告(答申内容)をもってこの後の採択検討委員会に報告いたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。それでは、これをもって審議を終了します。

6. 閉会

(事務局:)

ありがとうございました。

情報公開されるまでは、審議内容は部外秘なので、ご承知おきください。

調査部会事務部会、それぞれの代表の方はこちらで終了となります。資料はすべて机の上に置いてお帰り下さい。

本日は調査報告(答申内容)の審議・検討をいただき、ありがとうございました。

このあと、採択検討委員の皆様は第1研修室にて採択検討委員会全体会を行います。

大変申し訳ないですが、準備ができるまで、廊下での待機をお願いいたします。

【16:22 閉会】

日時 令和2年(2020年)7月15日(水)午後3時15分～4時30分

場所 教育研究所 理科実験室

【15:15 開会】

1 開 会

(事務局:)

本日は大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。この会議は「条例」第4条の規則に従い、半数以上の委員の出席により成立いたします。本日は21名中20名の出席をいただいておりますので、これより会を始めさせていただきます。

2 教育指導課長挨拶

(事務局:)

教育委員会 教育指導課長より ご挨拶いたします。

(教育指導課長:)

みなさんこんにちは。本日は8月教育委員会に提出する調査報告の作成をお願い致します。今回目録に掲載されている教科書の中から全日制643種、定時制495種を調査対象とさせていただきました。このような膨大な数の中から限られた時間で横須賀総合高等学校の生徒にもっともふさわしい教科書を調査する作業はとても大変なものであったかと思えます。あらためまして調査部皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。また、第一回目の会議において採択基本方針の確認を致しましたが、再度公正確保と綿密な調査に基づく採択原案作成へのお力添えをお願い致します。本日はどうぞよろしくお願い致します。

3 専門部会長 挨拶

(部会長:)

みなさんこんにちは。本日は令和3年度使用教科用図書採択検討委員会高等学校専門部会ということで皆様ご多用の中お集まりいただき誠にありがとうございます。今、教育指導課長から話がありました通りこれまで調査専門部会で調査頂いた先生方にもこの場を借りて改めてお礼申し上げます。ご承知の通り高等学校におきましては、令和4年度から年次進行で新しい学習指導要領に基づいた新しい教育課程を進めていく、移行していくということですので、令和3年度については頂きました資料を拝見しても、大幅な変更は無いのかなというふうに思っている次第であります。しかしながら、今日のこの会議で改めて慎重に審議をしていただきまして、教育指導課長からお話がありました通り、横須賀総合高等学校の生徒にとって、よりふさわしい教科書を採択できるように、そんな有意義な会にしていきたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。本日もどうぞよろしくお願い致します。

4 会議の進行について

(事務局：)

ありがとうございます。それでは、会議の進行についていくつかお話をさせていただきます。いくつか資料がございますが、一覧表様式1の資料がございます。網掛けがしてあるところが一か所ございますが、こちらは、新規に教科書を採択しようとする科目です。各教科でこれから説明させていただきますが、作成していただいた教科用図書一覧表の通し番号順にお願いいたします。全日制、定時制共に13教科でございますので、科目の少ない教科は時間を短縮していただいで説明していただければと思います。工業、商業の教科については、1科目ごとの説明をしていては、時間がなくなってしまいますので、まとめて特徴的なもののみ説明していただければと思います。この後、調査部員の先生方には、目録を回させていただきます。目録のほうに印をつけさせていただきます。今回お選びいただいた教科書を外側のほうに、印をつけてございます。全日制は黄色い、定時制は青色の小さな印をつけさせていただきます。お選びいただいたものともう一度確認いただければと思います。それでは、ここからの進行は部会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

5 調査報告 (*採択表に基づき各科目ごと報告)

(部会長：)

それではみなさんよろしくお願ひいたします。次第に沿って進めていきますが、今年度も、定時制から全日制の順で行います。定時制の先生はこれから授業がありますので、15分ほどで説明していただき、そのあと質疑等を取りまして確認できた段階で退席ということになります。全日制は、この次第の順番で各教科3分以内でご説明いただきたいと思ひます。それから説明につきましては事前に提出していただきました選定理由書(様式2)に沿った形でお願いしたいと思います。その後一括して審議等を行います。ここで確認しましたものを専門部会の後に開催される採択検討委員会で報告を致します。

次の採択検討委員会が16時35分から予定されていますので、この専門部会は16時30分には終了するよう協力をお願いします。それでは定時制からお願ひいたします。

(1) 定時制

(調査部員：)

それでは、定時制の教科用図書採択候補について説明させていただきます。まず初めに今お話がでございました、教科用図書採択候補一覧表の中の定時制の部分の1番から45番目までの教科書ですが、理由書が束なっています教科書採択一覧表の中では、70から117ページに定時制の採択候補が載っていますが、採択一覧の様式1の中でいきますと、37番網掛けされています工業の環境工学基礎、厚い採択候補一覧の理由書の中では109ページあります、工業科の環境工学基礎という科目で採用しようと考えている教科用図書以外は全て今年度使用しているものと同じとなっています。その理由としましては、各教科で今年度使用しているものが、学校教育目標あるいは各教科で設定している研究テーマを実践していくうえで、もっともふさわしく使用している中で大きな問題点も無いと、各教科担当者が判断致しましたので、来年度の教科用図書採択候補につきましては、今年度と同じ物ということで理由書を提出させていただきます。また、高等学校においては再来年の令和4年度から年次進行で新学習指導要

領に基づいた新しい教育課程に移行することとなっていますので、来年度の教科用図書採択では、大幅な変更が見込まれますが、今回は特に問題がなければ、現在使用している教科用図書をあと1年はそのまま使用するということになります。

さて、来年度新規に採択候補になった環境工学基礎についてご説明させていただきます。教科用図書採択候補一覧表の109ページ、今日配られております一覧表の中では2ページの番号37、網掛けの環境工学基礎です。今年度、地球環境化学、「かがく」は「ばけがく」の化学でございますが、そういう科目を教育課程に置いておりましたが、地域の身近な環境問題を取り上げ、幅広い内容を基礎・基本から学習する環境工学基礎のほうが、生徒にとってより良い科目であろうということで、来年度科目の変更を計画致しました。それにともない教科用図書についても新規の採択候補となったのです。なお、環境工学基礎の教科書は一冊しか発行させておりませんので、選定理由書の教科用図書になった次第です。以上で説明を終わります。よろしくお願い致します。

(部会長：)

説明ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、検討委員の皆様からご質問等があればお伺い致します。全科目合わせて一括してお伺いしたいと思います。検討委員の皆様いかがでしょうか。

(検討委員：)

定時制の先生方なくなっちゃうので、先にお伺いして、今年のことについては、これはこれで継続ということでありだと思っておりますが、今、先生もおっしゃった通り、来年の1年生の教科書は新学習指導要領のもとで考えていかないとイケなくなったら、そういうことも含めて少し資料も出したので、お話をさせていただければと思います。

実はこのような採択や選定の仕方になったのは2005年ぐらいなのですね。それが教科書採択というのは教育委員が決めるのだということが社会問題化し、このような形になっていった。詳しい先生に聞いてもらうと一番分かると思いますので、そういうことなのです。その時にちょうどあった学習指導要領が平成10年11年にあった生きる力を育むことと基礎・基本の定着というものだったんですね。その時は、こういうもの(理由書を指して)をもっといっぱい書かなければいけなかったのですが、その書く時に何を根拠に書いていったらいいんだという中で、私たちが拠り所にしたのが、学習指導要領とか教育委員会が出した指導の必携のものから色々を出してきた。そこで書いてきて、なんとか毎年の採択をお願いするようになってきたわけです。定時制の理由書の中にほとんどの教科、3科目だけが違っているですけれども、ほとんどの教科・科目が基礎・基本の定着というものを書いている。基礎・基本の定着という私たちはどういう風に読んでしまうかということ、20年前の指導要領のことを思っちゃう。多分違うというかもしれないけれど、基礎・基本の定着と書かれちゃうと20年前の学習指導要領にそってまだやっているのという風に思われてしまう。やはりその所は考えて来年直していったほうがいいのかなと思う。ただ、こんなこと言いながら私の自戒の念なのですが、10年前にお世話になっていたのですから、その時に色々と考えておけばよかったわけですが、その時に考えないで今になってこんなこと言うのも大変申し訳ないのですが、そういう意味ではやっぱり新しいものを考えてみるのは、重要なのではないかなと思います。同時にちょうどその時の基礎・基本の定着と生きる力の

中で、実は学力論争というのがあって、学校教育法の第 30 条に学力とはこういうものだということで三つの要素がでています。そんなところも含めて来年度はぜひ新しい学習指導要領を見ながら、理由書を考えていく必要があると思いました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございます。先生何かコメントはありますか。

(調査部員：)

参考にさせていただきます。

(部会長：)

今のご意見につきましては私にも責任がありまして、特に定時制の学校経営の方針の中で、特に学習指導の中で基礎・基本の定着ということを私自らが挙げておりますので、今回こうなっているのですね。基礎・基本というと外川委員がおっしゃった 20 年前の解釈それももちろんありますが、各教科・科目の中で一番ベーシックになるところを特に定時制の生徒については、これをしっかり身に付けさせて将来の発展的な学習に、あるいは応用に対応できるようなベースを身に付けさせたいという思いから、今のところこういう表現になっていますので、また来年の学校の教育方針を決めていくというのには今のご意見を参考にしながら決めていきたいと思うので、貴重なご意見ありがとうございました。

その他、ご意見ご質問あればお伺いしたいと思います。いかがですか。委員いかがですか。

(検討委員：)

あとでまたお話をさせていただきたいと思ったのですが、定時制というと学力の差というのがすごく大きいですね。ですから基礎・基本の定着というのは絶対必要なものだと思うのですが、学力が高い子たちに対しての配慮はいくつかあるんですか。

(調査部員：)

本校の場合は、総合学科で選択科目が多く用意することができますので、比較的興味関心が強いような子供が選ぶような科目を少しですけれども用意することで、そういうニーズにも応えられているのかなと思います。全てに十分に応えられているのかと言えば、それはなかなか難しいのかなと思います。

(検討委員：)

そうですね。いろんな子がいますからね。

(部会長：)

ありがとうございました。委員いかがでしょうか。

(検討委員：)

はい。(特にないという合図)

(部会長：)

よろしいでしょうか。定時制においては、新規の教科書が一点ございます。これは科目の変更によるものであると説明がありました。特にご意見等がないようでしたら、この資料をもって採択検討委員会に報告をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、定時制の先生方はこれで退席となります。ご苦勞様でした。ありがとうございました。

それでは、時間ももったいないので進めさせていただきます。続きまして全日制の課程の教科書採択に移って参ります。次第の通りに進めていきますが、質疑等につきましては最後に一括して行うようにしますので、よろしくお願い致します。各教科3分以内を目途に説明して頂きたいと思ひます。それでは国語科からお願いを致します。

(2) 全日制

① 国語

(調査部員：)

国語科です。よろしくお願い致します。国語科では、国語総合、現代文B、古典Bの三科目とも昨年度からの継続になります。国語総合の継続の理由は、定番教材と新教材のバランスが非常に良いということです。定番教材は各単元の初めに配列され読解のポイントがおさえられることができます。また、川上弘美の小説など新しい教材や俵万智の短歌や池上嘉彦の言語文化論などの教材は、主体的・対話的で深い学びができる力を育成することに適していると考え選定致しました。次に現代文Bですが、生徒の好奇心を刺激し、社会で生きるための国語力を育むために有効な教材がたくさん入っています。文学的文章としては定番の「山月記」や「こころ」のほか、さくらももこや浅田次郎など生徒にとって親しみやすい作家の作品が集録されています。また、評論作品においても「情報化時代に生きる」など現代社会を生きる上で必要なテーマを意識した教材が収録されています。これらのことが現代文Bの選定理由です。古典Bにつきましては、紙面が分かりやすいということと幅広いジャンルや時代の作品が多数集録されているということが理由に挙げられます。また、長編の作品は一部、二部と難易度で区切っており、選択して扱えるようになってきました。全ての教材を扱うわけではないので、生徒の関心と重ねて教材を選択でき、学習意欲を高めていけると考え選定致しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、地理歴史科お願いします。

② 地理歴史

(調査部員：)

地歴科です。地歴科は世界史 AB、日本史 AB、地理 AB、地図帳とまとめて説明致します。地歴公民科

では多くの学習指導目標である基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力の向上にふさわしい教科書を選んでいきます。そのために流れがつかみやすく、生徒が使いやすいことを意識しました。また、文章の分量や分かりやすい説明をしているかということも意識しました。A科目では見開き1ページでまとめているかなど、使いやすいかどうか、文章と図版の量のバランスは適しているか、興味関心をもち深く学びたい生徒のためにコラムなどを充実させているかなどの視点で選びました。結果、世界史Aは山川出版社の「世界の歴史 改訂版」日本史Aは第一学習社の「高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来」地理Aは帝国書院の「高等学校 新地理A」となりました。B科目では地域や時代、考え方のバランスが良いか、文章を補完する図表、写真を見やすく適切に用いているか、生徒が興味関心を持ち自学自習がしやすいかなどの視点で選びました。また、本校生徒の進路を鑑み、大学受験に対応できるものなのかということも考えました。その結果、世界史Bは実教出版の「世界史B新訂版」、日本史Bは山川出版の「詳説日本史改訂版」、地理Bは帝国書院の「新詳地理B」地図帳は帝国書院の「新詳高等地図」となりました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。続きまして、公民科お願いします。

③ 公民

(調査部員：)

公民科です。よろしくお願いします。公民科三科目ございます。一科目目の現代社会に関しましては、1年生の主科目ということもあり、図版が豊富で難易度も標準レベルのものを引き続き選定致しました。二科目目の倫理に関しましては、2・3年生の選択科目になります。内容が宗教や哲学という分野で抽象的なものが多い中で、この教科書は分かりやすく、かつ丁寧な説明が加えてあり、生徒が熟読しやすいものになっているので、これも昨年度に引き続いて選定致しました。三科目目の政治経済ですが、これも2・3年生の選択科目になります。内容が明確で生徒が読んで理解できること、合わせて豊富な情報を盛り込んでいるので、昨年に引き続き選定致しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、数学科お願いします。

④ 数学

(調査部員：)

数学科です。よろしくお願いします。本校数学科の目標「基礎・基本の定着を図り、数学的な思考力を伸ばすための指導の工夫」これにふさわしいものとして、数学I・II・III・A・B全て継続して、同じ出版社の同じ種類のものを選びました。その理由としては、この5冊ですが基本問題から応用問題まで段階的に学習できるように問題配列が工夫されえおります。また、問題と解説が初学者にとって具体的に分かりやすくなっている点、あとは課題学習や応用力を高める問題を授業でとりあげることができる点、生徒が家庭で取り組むことで数学的な思考力を伸ばすことができる点、例題解答のレイアウトがと

ても見やすく、配色や図の示し方などユニバーサルデザインを意識していて各科目で同じ種類のものを使えるという点でも、生徒の混乱が少なくなるということも踏まえて選定致しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。理科お願いします。

⑤ 理科

(調査部員：)

理科です。よろしくお願いします。教科書選定にあたりましては、目録にある全ての教科書を検定致しました。はじめに本校学習指導の目標である「自学自習の精神の確立」と教科目標である「基礎・基本の確実な定着と科学的思考力・表現力の育成」にむけた指導改善にふさわしいものとして何点かしぼりまして、次のような内容を検討してさらにしぼり決めました。学習指導要領の内容が過不足なく掲載されている、各分野の扱いのバランスがよく基本から発展までに段階的に深くなっていく編集の工夫がみられる、紹介された多くの実験を通して様々な身近にあるものを含めた現象や法則を考えることができる、各単元が分かりやすい文章でコンパクトにまとまっており、写真、コラム、発展を通じて興味関心を起こさせる、というような内容でさらに選定を致しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。保健体育科お願いします。

⑥ 保健体育

(調査部員：)

保健体育科です。よろしくお願いします。保健体育で使う教科書は一種類になります。三冊の中から一冊を選びました。理由は、見開き2ページで1単位時間分の内容にまとめられていること、また、学習指導要領に基づいた三つの単元が適切に構成されており、学習しやすい配列になっていること、また授業で知識を得た後に健康な生活をおくるためにはどう取り組むべきかを考え、改善しようとすることや、それを実生活に結び付けられるような学習課題が提示されていること、各内容の最後に「考えてみよう」という記載があり、授業の中でグループを作りアクティブラーニングなどで主体的・対話的な活動につなげやすくなっていること、豊富なイラストや図表、写真の配列がとても見やすく、思考力・判断力・応用力を育みやすくなっています。また体育編では、スポーツと現代社会との関連を工夫して記載しており、イメージしやすいものとなっています。巻末の用語解説のページも学習内容の深化に役立つものとなっていることで選定させていただきました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。芸術科お願いします。

⑦ 芸術

(調査部員：)

よろしくお願いします。芸術の音楽から最初にお話ししていきます。音楽1の教科書ですが、三社六冊の中から選出しております。このコロナ禍の中ではありますが、歌う教師はシールドを設定して、何とか努力してやっているわけですが、こういった歌唱教材が非常に教科書ではの豊富にあるということ、たくさんの歌を歌わせるという中で、多様な難度をそろえているという歌唱教材の豊富さが第一のポイントであります。それから日本の歌曲、小中から一貫してとりあげているのですけれども、それについても豊かである。また器楽教材、本校の授業形態としては生徒の習熟度に応じながら、主体的に学ばせたいということがあります。こうした授業の形態に配慮し、一番適しているのがこの教科書だと考えました。特に伝統的な日本の音楽、日本の文化の中で培われてきた音楽を感じ取ることができるような配慮、これは鑑賞の部分では大変大事な部分かと思えます。そういったことで教芸の1冊を選出したいと考えております。音楽2ですけれども、2、3とだんだんすすむと受講生徒数も減っていくわけですが、そんな中でより主体的に学習に臨みたいという生徒がいるわけで、発展的にそういうことを学ぶのに一番適したのはいずれかと考えて、この教科書を選定したということになります。内容的には歌曲の解説、あるいはその作曲者について記述してあるところが、理解が深まる場所です。日本歌曲については、その詩の理解が深められるような工夫がなされていることもあります。ということで教芸のMOUSA2を選んでいきます。音楽3ですけれども、この音楽3をとる生徒は音楽系の進路を選びたい、あるいは本格的に音楽を楽しみたい、あるいは教育系で資格をとりたいなどの動機があるものが増えてまいります。そういった意味で発展的に音楽を学習するうえで、楽典あるいはソルフェージュといったところの学習が行われるような配慮がされています。また鑑賞についても解説が詳細にわたっておりまして、深い理解ができるような解説がされているところで、この教芸のJoy of Musicを選びました。

次に美術です。美術につきましては、昨年度と同じ日本文教出版の「高校生の美術1」であります。これは学習のねらいが明確に示されている。それから技法や用語の使い方についてわかりやすくページの割り振りがされている。それから本の編集として色分けされて内容と分野が分かれています。中身は実際の制作活動に沿うように完成するまでのプロセスが生徒にイメージしやすい、したがって意欲をもって創作活動を進めていけるだろうというように思っております。以上の理由で「高校生の美術1」を選んでいきます。

書道になります。書道1ですけれども、実際に授業で使います半紙の大きさ、そういったものが教科書の中で取り上げられていて、活用がそのまま教科書をいかしながらの書道制作に入っていけるというところがあります。また、書の伝統や文化の理解のために歴史や文学と関連を紹介するコラムも興味深いところです。基礎的な学習に重点を置いている点や半紙と同形でそのまま活用できる学習のしやすさを第一に考えた配慮を踏まえ教育図書「書I」を選んでいきます。書道2です。書道IIは、書道Iからの発展を考えて、習得の工夫や配慮のうえでは、作品の表現効果、書の伝統を意識させる内容が特徴的です。特に篆刻、国璽の制作手順は非常にわかりやすいのではないかと思います。そういったところで「新編 書道II」教育出版を選びます。書道IIIです。多くの古典が掲載されております。作文の意味なども解説されております。書道の流れや歴史を深めるとい点で、一番豊かにそういった記事が掲載されています。随所に古典教材の再現性が高められる工夫がなされています。鑑賞力を高めるというところ

にもつながっています。以上のような理由で教育図書の「書Ⅲ」を選びました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、外国語科お願いします。

⑧ 外国語

(調査部員：)

外国語です。よろしくお願い致します。外国語はコミュニケーション英語、英語表現、英語会話、この三科目、昨年度同様、継続して選定しております。この理由については、コミュニケーション英語につきましては1年、2年、3年時、英語表現につきましては、1年、2年時と学びの連続性に配慮したことが選定の理由となっております。コミュニケーション英語につきましては、扱っている題材が文化・芸術・歴史・国際貢献と英語を通して知識を広げられるような題材を扱っているということと、教科書の資料や写真がバランスよく配置され、見やすいレイアウトになっているということが選定理由の一つです。加えて内容に沿った写真がとても美しく、視覚的にも生徒にとって興味や関心を引くものと考えたからです。また、英語を読む、ある程度の量を読むということに加えて、読んだ後自分で考えたり、人の考えを聞いたりするような実践的な読解の活動ができるような工夫がされているところも選定理由の一つとなっております。続きまして英語表現ですが、コミュニケーション英語と同様にシリーズを採用しております。その理由といたしましては、ワンレッスンごとの分量が適切であるということと、この教科書は文法シラバスによって構造的に作られています。ですから生徒が文法を学ぶという切り口から学習を積み上げて、それを書いたり話すことに使ったりするというように、話す・聞く・書くというような技能の活動がバランスよく効果的に行えると判断して、採用いたしました。最後に英語会話ですが、これは場面シラバスで教科書が構成されておまして、例えば旅行や病院などに行ったときにどういう表現が適切あるいは使われやすいかというような切り口で、生徒が学べるようになっております。よって社会に出ても実践的な英語表現を学べるということと、平易な英語で学ぶことになっているので、教養科目としても生徒が学びやすく学べるという点でこの教科書を選定致しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、家庭科お願いします。

⑨ 家庭

(調査部員)

家庭科です。よろしくお願いします。家庭科は家庭基礎、子どもの発達と保育、ファッション造形基礎、フードデザインの4科目です。すべて昨年度からの継続となります。まず、家庭基礎の継続理由ですが、本校が取り組んでいる「ESD」持続可能な開発のための教育にそっていることがあげられます。グローバル化とサステナビリティ、持続可能性という二つのキーワードが各単元に見受けられ、生徒が意識して自立を目指すための内容が工夫されています。また、食生活の自立においても調理実習のメニューにおいて、和食・洋食・中華がバランスよく豊富に取り上げられていることも重視しました。次に

子どもの発達と保育ですが、この授業では保育実修を実施しています。そのため絵本の読み聞かせ、子どもの遊びなど保育実習に関わる内容が充実しており、実習記録のまとめ方についても詳しく記載されていることから選定致しました。つづいてファッション造形基礎です。目録にあるのは一冊ですが、基礎だけでなく、発展的に学べるように発想デザインや制作例が豊富にとりあげられており、本校生徒がスカートや浴衣制作に関心をもち、意欲を高めるために適していると判断し選定しました。最後にフードデザインです。本校のフードデザインの授業では、調理実習とともに調理実験も多く実施しており、その記載が大変豊富であること。また、テーブルコーディネートの記事もあり本校の授業に適していると判断し選定しました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。それでは、次、情報科お願いします。

⑩ 情報

(調査部員：)

情報科です。よろしくお願い致します。社会と情報は学習を進めるにあたり、暗号化はイラストで平易化し、電子メールの利用ではメールリテラシーが表にまとめられ、ラインとの違いが意識できるようになっていること。また、情報モラル・デジタル表現・情報通信ネットワークの内容を限られた時間の中で深く理解させるために、單元ごとに数ページでまとめてあり、内容を網羅されていることを高く評価し、本書を選定致しました。次にネットワークシステムですが、学習指導要領にそった内容を文章だけでなく、図や写真を多く取り入れて分かりやすく解説しているところを評価し、選定致しました。情報の表現と管理ですが、学習指導要領にそった内容の文章に加え、図や写真を多数取り入れて理解度が深まるように工夫し、解説しているところを評価しました。情報を表現するために必要な知識と技法を段階的に分かりやすく記述しているところも評価し選定致しました。以上です。

学習指導要領 図や写真 評価しました。情報を 段階的に

(部会長：)

ありがとうございました。次に工業科お願いします。

⑪ 工業

(調査部員：)

工業科です。よろしくお願い致します。製図、機械工作、自動車工学、電子機械、建築構造、建築計画、デザイン技術、デザイン史、それぞれ昨年度からの継続という形になります。継続の理由として教科書目録に記載されている教科書は全て一冊なのですが、写真や図が豊富で見やすい点や口絵や巻末が充実している点、また各単元のならばとつながりが良く、生徒が理解しやすい工夫がされています。また、継続の中で機械工作においては、「新機械工作」と「機械工作Ⅰ」の二冊を検討しました。写真や図が豊富で理解しやすい内容でまとめられていることから、「新機械工作」を選定しました。どの教科書においても本校生徒が興味関心を深めて学習できるように工夫されており、基礎・基本の習得と思考力・

判断力・表現力を養っていくために適切であると判断し、選定致しました。

(部会長：)

ありがとうございました。次に商業科お願いします。

⑫ 商業

(調査部員：)

商業科です。よろしくお願いします。6科目すべて継続の教科書になります。選定理由については、各科目とも指導と目標にそっていることや学校と評価のテーマにもそっていること、また主体的で深い学びの実現が期待できるということで教科書を選定致しました。また各教科書とも本校の生徒が 自学自習の際にも理解しやすい工夫などがあり、興味関心をもって学習することができ、知識・技能を身に付けて、思考力を養うのに最も適していると判断して選定しました。

(部会長：)

最後になります。福祉科お願いします。

⑬ 福祉

(調査部員：)

福祉科です。よろしくお願いします。社会福祉基礎、コミュニケーション技術、生活支援技術、こころとからだの理解、4科目とも継続となります。教科書目録に記載されている教科書は一冊ですが、どの教科書においても福祉科目を履修している本校生徒が興味関心を深めて学習できるように工夫されています。そして、基礎的な知識と技術を習得し、思考力を養っていくために適切であると判断して選定致しました。以上です。

6 質疑応答

(部会長：)

それぞれご説明いただきました。13教科全てについてご説明いただきました。専門部会員の皆様におかれましては、何かご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

(検討委員：)

こうしたコロナ禍の中でいろいろと調べて、大変だなと思います。同時に私も平日の昼ですけれども、教科書展示会にいった時に一般の方が3名ほどいらっしゃいました。おそらく高等学校は見ないで中学校ばかり見ていたかもしれません。でもそういう意味では、非常にこの教科書採択というのが関心事になっているなという事は思います。さきほどちょっと言いましたけれど、私の役目っていうのは先生方が選定したものが教育委員会にいて、教育委員の先生方がすんなりと採択できるようなお手伝いをできればなと思っております。そういう意味では一つ二つお話をさせていただいて、一つはまた基礎・基本となってしまうのですが、資料を見てもらうと基礎・基本の習得と思考力といふように書いてありま

す。今、発表の中で岡田先生が基礎・基本の知識と技術と言いましたけれども、多く書いてあるの基礎・基本の習得と書いていて、知識と技能は書いていない。となると、それって何という教科がいくつかある。資料の中に平成 20 年のところの生きる力のところで、確かな学力のところで、基礎的基本的な知識・技能の習得というのがでてきて、書いてある中では知識・技能が抜けているところがある。その後はずっと一緒なのですが、これじゃやないと言われたら全然別かもしれませんが、もしこれに似せるのであれば、ちょっとわかんなくなってしまう、ということが一点ありました。あと、読んでいてやはり、どっかにたよるんじゃなくてこの教科書がこれだけ素晴らしいんだというふうに書いているある科目教科がいっぱいありました。それは、すとんと落ちました。もう一つは主体的・対話的で深い学びという来年度の問題ですけれども、そういうところを意識した文言もありましたし、先ほども言いましたが、来年の 1 年は、これは学び方だから、教科書とたぶん直結すると思います。そういう意味では、やっぱりここを意識しながら文言を深く考えていくことが大事だなと思います。最後に家庭科だったと思いますが「ESD」ということで持続可能な開発のための教育ということがあります。皆さんご存知かと思いますが、SDGs の 4 の所に教育が入っていますので、そこに直結しているのですが、最後の所に書いてきました。来年からでてくる社会に開かれた教育課程という中で、より良い学校教育を通じて、より良い社会を作るということが出てきました。より良い社会って何よと言った時に、やはりここは持続可能な社会と返されていることが多いので、SDGs ということを意識しながら選んでいくということは大きな点だろうと思いました。以上です。

(部会長：)

ありがとうございました。他委員からの意見はありますか。

(検討委員：)

教科の内容とか、そういう中の内容には私たち素人はそこまで口突っ込むことはないと思います。長年やられている先生たちが熟考して考えたものだと思いますから、またずっと継続のものでしたので特に問題はないと思います。今年はだけコロナによってリモートの授業という形が多くなっているじゃないですか。総合高校さんは、もうコンピューターはみんなあるから、リモートとかっていう授業はやられているのですか。まだやっていないのですか。逆にまた冬場になると感染が増えて休校になると、またリモートの授業が増えてくるので、それに対しての教科書を選んでいくというような形も、来年度再来年度から必要になってくるのではないかという感覚があります。だから教科書によって、ファッション造形や英語の写真などは、すごく見やすくぱっと飛びつきやすいのですが、国語とか文とかだけだと、子どもたちっていうのは、なかなかそこに対してリモートとしてやったらできる子とできない子が増えてくるんじゃないかなという感覚もありますので、そこらへんは色々な観点から、来年ちょうど教育制度が変わるという形ですので見直すところはけっこうあるのかなと思います。以上です。

(部会長：)

貴重なご意見ありがとうございました。本校も 3 月 4 月 5 月と 3 カ月にわたり臨時休業を余儀なくされたわけですが、各教科・科目の特性に応じてリモート授業をしたほうが効果的だと思われる科

目等については、リモート授業を実際に行ってはいました。しかしながら、そうじゃない科目もありましたし、今、委員がおっしゃっていたように今回は急遽こうゆう形になりましたけれども、仮に今後このリモート授業が必要になった時に教科書というの、どのような教科書がいいのかということも必要な視点なのかなと思われまますので、また今後、特に次回の教科書採択については新しい教育課程のなかで抜本的に見直す必要があるかもしれませんので、今いただいたご意見は大いに参考にさせていただく必要があると思います。ありがとうございました。

委員から何かあれば、お願いしたいと思えますけれども。

(検討委員：)

まったくこの選定とは関係ないことになるかもしれないのですけれども、家の娘は高校三年になるのですが、恥ずかしながら教科書というのを私は今回初めて見たしでして、一番驚いたのはフリガナがすごく多いことにびっくりしたということが感想です。以上になります。

7 答申内容の原案決定

(部会長：)

ありがとうございました。その他に何かご発言はありますでしょうか。特によろしいでしょうか。それでは、今のこの資料の内容をもって採択検討委員会に報告させていただきたいと思えますが、これでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。この資料をもって、この後の採択検討委員会に報告することと致します。会のスムーズな進行にご協力いただきましてありがとうございました。では、私の進行はここまでいたします。あとは事務局お願いします。

8 閉会

(事務局：)

進行して頂きましてありがとうございます。また皆様、ご審議いただきましてありがとうございます。調査部員の方は、こちらで終了となります。本日まで調査報告等作成をしていただき、ありがとうございました。また、閉会后、16時35分から第1研修室にて採択検討委員会全体会を行います。採択検討委員の皆様は準備ができるまで、こちらで待機をお願いいたします。

なお、皆様の任期につきましては8月31日までとなっております。情報公開されるまでは、委員の名前や審議内容も含め部外秘ですので、十分お気を付けください。今後、教育委員会での審議に向けて、調査報告について再度ご質問させていただくこともあるかもしれませんので、宜しくお願い致します。

以上を持ちまして、令和3年度使用教科用図書採択検討委員会高等学校専門部会を終了させていただきます。

【16：05 閉会】

... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

... (faint text) ...

令和3年度使用教科用図書採択検討委員会 特別支援教育専門部会 <議事録>

日 時 令和2年7月15日(水) 午後3時30分～4時30分

場 所 横須賀市教育研究所 会議室

【15:30開会】

1 開 会

2 挨拶 横須賀市教育委員会 教育指導課長

3 挨拶 採択検討委員会
特別支援教育専門部会 部会長

4 会議の進行について 支援教育課

5 調査報告

(進行:部会長:)

(1) 養護学校 小学部・中学部

[報 告]

○小学部・中学部

(調査部員:)

本校は肢体不自由と重度の重複障害を合わせ持ち、また医療的ケアを必要とする児童生徒が多く通う学校である。現在は小学部30名、中学部18名、計48名の児童生徒が毎日頑張って勉強している。本校は学年によって人数が違い、各々の児童生徒が異なる課題を持つため、縦割りで小学部は二つのブロック、中学部で一つのブロックを作っている。さらに、その中でいくつかのグループに分かれ、個別学習やクラスで行う課題学習の中で、採択した教科書を使用しながら、それぞれの児童生徒に合わせた学習を進めている。また、自立活動が中心の児童生徒が多いため、教員はそれぞれの課題に応じた指導を考えながら、日々の授業を行っている。

教科書の本年度の採択については、例年通り、6月に昨年度採択した教科書を校内に展示し、次年度はどのような教科書が良いか、と担任全員で検討した。その中で、「キラキラしていて、見てみたいと思うもの」「ふわふわしていて、触ってみたいと思うもの」「触ると音がでるから手を伸ばしてみたいと思うもの」等、五感に訴えるものが多く選ばれていた。例年、音の出る本が多く出ているが、廃盤になるものも多い現状である。しかし、今年は昨年度と同じものを選ぶことができた。(以下は実物を見せて説明) このように触ってふわふわするもの、目が見えなくても、タッチするとザラザラしている触感がわかるもの、また、触ると英語の歌が流れ、その歌を外国語活動の授業に取り入れる等の活用もみられている。

(2) ろう学校 小学部・中学部・高等部

[報 告]

○小学部・中学部

(調査部員:)

本校は児童生徒数は少ないが、実態が一人一人違い、学力も異なる。そのため、担当教師は、前年度の担当者が選んだ本をまとめた表を参考にするだけでなく、教科用図書展示センターに行き、実物を見るなどして選んでいる。また、聴覚障害を持つため、視覚情報に訴えることを利用して学習できるよう、挿絵やイラストを重視し、非常に虫が好きというような、児童生徒の興味関心を考慮して選んでいる。

○高等部

(調査部員：)

聴覚障害の生徒にとって重要な視覚的な情報を取りやすいということを最優先して選択した。また、一般の教科書を使用する生徒でも、個々の障害を持っていることを踏まえて、各教科の担当が教科書を選んだ。現在1年生は在籍していないが、来年度の1年生はこれが良いのではないかと、ということを考えて検討した。

(3) 特別支援学級

〔報告〕

○小学校

(調査部員：)

市内の小学校の中で著作本と附則第9条本を希望した学校は14校。国語・算数・理科・社会・音楽・外国語の6教科で、その中でも国語と算数が中心となっている。各学校で特別支援学級の指導体制に違いはあるが、児童に合わせた個別の指導が特に必要になるのが、国語と算数であるためだと考えられる。同成社の「ゆっくり学ぶ子のための国語・算数」のシリーズは発達段階に合わせて選択でき、系統性を持った書籍であるので、継続して採択する学校が多いようである。他の教科でも発達段階や児童の特性に配慮して、視覚に訴えたり、理解しやすくスモールステップを組むなどの工夫や配慮がされており、児童の学習意欲につながるという視点で採択された本が多いと感じた。

○中学校

(調査部員：)

中学校においても、国語と数学で著作本の採択希望が多く出ている。特に数学に関しては附則第9条本の採択希望が多くみられると同時に、先ほど小学校からの報告にもあった同成社「ゆっくり学ぶ子のためのシリーズ」は、中学校でも採択する学校が多くある。これに関しては教科の特性上ということもあると思うが、やはり段階を踏んでスモールステップで学習する必要があるということ、また、特別支援学級では、個々に応じて授業内容のレベルを細分化して行う必要があるということだと考えられる。別の視点から見ると、社会に出たときに必要とされるマナーや礼儀を学ぶための書籍が多く採択される傾向にあり、実生活でも役立つことを意識した選択だと思われる。また、採択希望の書籍全般に共通することとして、生徒が興味関心を持ちやすくし、理解を促すために図や写真等を活用する構成の書籍が多いと感じた。

<採択上の意見交換>

(1) 養護学校(小学部・中学部)

(なし)

(2) ろう学校 (小学部・中学部・高等部)

(なし)

(3) 特別支援学級 (小学校・中学校)

(なし)

6 全体を通しての感想

(検討委員：)

子どもたちの実態に応じた教科書が選ばれていると感じた。特に障害の重い子どもであっても、触ってわかる、CDがついているので音楽も聴ける、また、DVDがセットになっていて、実際に映像で見ることができる等、様々な工夫がされた本を選択されたと感じている。

(検討委員：)

養護学校では、重度重複障害の児童生徒が多いため、いままでは附則第9条本が中心であった。しかし、子どもたちの実態も変化しており、著作本の対象の子どもたちが少しずつ増えている。ろう学校の小学部で音楽の著作本が採択されているのを見て、養護学校でも使ってみたいと思った。以前、特別支援学級で教えていたが、その頃は、「音楽」は交流学习で使うため検定本が多かったため、音楽の著作本を使ったことがない。著作本を少し開拓していきたいと興味を持った。

(検討委員：)

養護学校に通っている我が子は、障害が重度であり難しいことが多いが、五感で楽しめるような教科書を多く採択していただけると嬉しいと思う。学年末に教科書を持ち帰ってきた時に、使いきれず新しいままの本もある。一覧表を見ていると、今までより楽しめる本が増えているようで、来年度が楽しみである。

(検討委員：)

ろう学校に通う我が子も重複障害である。子どもの様子に合った教科書を使っただけだと嬉しく思う。

(部会長：)

今のお二人の保護者のお話は率直なご意見であると感じた。養護学校・ろう学校・小中学校でも、先生方のご苦勞のもと、教科書が実生活や外の世界に結び付けながら関心をもたせる一つの道具になると思った。

7 答申内容の原案決定

8 閉 会

【15：56 閉会】

昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在
昭和二十九年十月一日現在

(1954年10月1日現在)

(1954年10月1日現在)

(1954年10月1日現在)

令和3年度使用教科用図書採択検討委員会 全体会 <議事録>

日時 令和2年7月15日(水) 午後4時35分～

場所 横須賀市教育研究所 第1研修室

【16:35 開会】

1 開 会

(事務局:)

これより令和3年度使用教科用図書採択検討委員会をはじめます。この会議の議長は条例に基づき、委員長をお願いいたします。

2 資格確認

(委員長:)

それでは、この会の資格確認を事務局お願いいたします。

(事務局:)

本日の委員会について第4条の規定に従い、17名の出席を得ていますので、本会議は成立しております。

3 答申内容の検討

(委員長:)

はい、ありがとうございます。それでは各専門部会の調査内容の報告をお願いいたします。まずは中学校部会について、私からお伝えいたします。

(1) 中学校

(部会長:)

本日の中学校専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果を報告します。

中学校は10教科16種目、69種の教科書のうち、「調査部会」と「事務部会」の調査報告で違う候補本があがっていた教科・種目が「国語」「書写」「社会(歴史)」「数学」「理科」「美術」「技術・家庭(技術分野)」「技術・家庭(家庭分野)」「英語」「道徳」の10種目ありました。

そのうち4種目はそれぞれ選ばれた発行者が異なっており、1種目は調査部会が選んだもの以外にもう1者候補本があがっており、残りの5種目は調査部会が選んだ中の1者のみが候補本となっていました。短い時間ではございましたが、慎重に検討した結果、

国語「光村図書出版」「三省堂」、書写「光村図書出版」「三省堂」、社会(地理)「帝国書院」、社会(歴史)「東京書籍」「教育出版」、社会(公民)「東京書籍」、社会地図「帝国書院」、数学「東京書籍」「啓林館」、理科「東京書籍」「啓林館」、音楽(一般)「教育芸術社」、音楽(器楽)「教育芸術社」、美術「光村図書出版」「日本文教出版」、保健体育「東京書籍」「大修館書店」、技術・家庭(技術分野)「東京書籍」「開隆堂出版」、技術・家庭(家庭分野)「東京書籍」「開隆堂出版」、英語「東京書籍」「開隆堂出版」、道徳「学研教育みらい」「東京書籍」「教育出版」の三者と決定いたしました。以上でございます。

(委員長：)

この調査結果について、何かご意見がありましたらお願いいたします。

(質疑なし)

(委員長：)

ありがとうございました。それでは次に、高等学校の報告をお願いいたします。部会長、お願いいたします。

(2) 高等学校

(部会長：)

はい、本日高等学校専門部会において調査報告を基に審議いたしました内容について報告させていただきます。審議の結果、この一覧表のとおり確認がされました。高等学校においては令和4年度から年次進行で新学習指導要領に沿った新しい教育課程に移行していきますので、今回は新たに採択しようとする教科用図書は定時制の1者のみということになりました。新たな教科書を採択しようとする理由は、科目の変更によるもので、定時制工業科の実情についての説明を専門部会で確認し、環境工学基礎について新たな教科書を採択していただきたいという内容で報告をさせていただくことになりました。報告は以上でございます。

(委員長：)

ありがとうございます。この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

(質疑なし)

(委員長：)

よろしいでしょうか。それでは次に、特別支援教育についてご報告をお願いします。部会長、お願いいたします。

(3) 特別支援学校（特別支援学級）

(部会長：)

お願いします。本日特別支援教育の専門部会で調査報告を基に審議いたしました。審議の結果、この一覧表のとおり調査結果を報告します。

特別支援教育におきましては、特別支援学校のろう学校と養護学校、小・中学校の特別支援学級があります。これらにつきましては、児童・生徒の実態に応じて教科書を選んでいきます。対象となる本は「検定本」、文部科学省で定めております「著作本」、学校教育法附則第9条で規定されている「一般図書」の三種類で、この中から採択することができます。

内容についてですが、

| | |
|-----------------|------|
| ろう学校（高等部）用検定本 | 38冊 |
| ろう学校用著作本 | 20冊 |
| 養護学校用著作本 | 5冊 |
| 小学校特別支援学級用著作本 | 8冊 |
| 中学校特別支援学級用著作本 | 11冊 |
| ろう学校用附則9条本 | 11冊 |
| 養護学校用附則9条本 | 125冊 |
| 小学校特別支援学級用附則9条本 | 21冊 |
| 中学校特別支援学級用附則9条本 | 68冊 |

検定本につきましては、小学校・中学校で採択されたものを使用いたします。

以上報告致します。

(委員長：)

ありがとうございました。この調査結果について何かご意見がありましたらお願いいたします。

(質疑なし)

(委員長：)

よろしいですか。それでは全体を通しまして、ご意見あるいはご感想を含めていかがでしょうか。では中学校部会の委員、いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

(検討委員：)

中学校は向こう4年間の教科書を決めるということで、かなり調査部会、事務部会ともに大変な作業をしていただきました。結果から言いますと、大幅に変わるというところで、16の教科書があるのですが、10は変わるということで、相当先生方、今まで使っていたような教材と大きく違うわけで、今まで蓄積したものに新たに蓄積していくことになろうかと思えます。来年から新しい雰囲気の授業がまた行われるのではないかと考えております。そんなところです。

(委員長：)

ありがとうございました。それでは高等学校部会ということで、いかがでしょうか。よろしく願います。

(検討委員：)

保護者代表です。よろしく願います。今回、採択検討委員ということで携わらせていただき、まったく今までこういう作業が行われていたことをまったく知らない中で、とてもいい経験をさせていただきました。教科書を選ぶという中で、どういったところで優劣をつけるかというすごく難しいというようなお話を伺って、子供の目線であったり、先生の指導のことであったり、一番いい教科書を選んでいただいて、子供のために使っていただけたら保護者としてとてもうれしく思います。以上です。

(委員長：)

ありがとうございました。それでは、特別支援教育部会、よろしく願います。

(検討委員：)

保護者代表です。初めてこういう会に出させていただき、とてもいい勉強になりました。支援学校はその子に合った教科書を選んで勉強しているので、今後もその子にあった教科書を選んで進めていけたらいいなと思いました。ありがとうございました。

4 答申内容の決定

(委員長：)

ありがとうございました。

それでは、この調査結果を教育委員会への答申としてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

特に意義がないようですので、この内容を教育委員会に答申させていただきます。

それでは、あとは事務局の方でよろしく願います。

5 閉会

(事務局：)

委員長、ありがとうございました。では最後に、教育指導課長よりご挨拶申し上げます。

(課長：)

熱心なご審議のうえ答申内容を決定していただき、ありがとうございます。

皆様の報告を聞きまして、教育委員会事務局といたしましても教育委員会に自信をもって提案していけると確信しております。教師はただ教科書を教えるだけではなく、教科書を使って教科書で子供の心を揺さぶり、そして何かをつかませ、成長させていく。そういった使命を帯びている。そういった意味では「今後の横須賀の教育をどうしていくのか」という視点で会が進められたと感じております。このことも教育委員の皆様へ報告をし、よりよい教科書採択ができるように努めてまいります。本日はどうもありがとうございました。

(事務局：)

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。なお、本日お持ちいただいた資料やお配りしたプリント類は回収させていただきます。机の上に置いてお帰りください。

また、各専門部会でも確認されたと思いますが、皆様の任期は8月31日までとなっております。情報公開がされるまでは公正確保のため秘密扱いとなりますので、くれぐれもお気を付けください。本日はありがとうございました。解散といたします。

【16：55 閉会】